

サークル紹介

アーチェリー部

西条副将 貞 徳 洋 輝



アーチェリーというスポーツはあまり知られていないがオリンピックや国体の種目の一つである。男子90, 70, 50, 30m, 女子は70, 60, 50, 30mの各距離から36射ずつシュートして、的的中した合計得点により勝敗を決める。一射一射、正確にシュートすることが大切で、そのためには体力的にも精神的にも鍛えなければならない。これがアーチェリーが奥深いと言われるゆえんである。しかし本人の努力次第で得点はどんどん伸びる。言わば自己の可能性への限りなき挑戦である。矢が風を切って的の中心に当たる瞬間の喜びはなんとも言えない。また青空のもと広々とした芝生の上で弓を引くのは気持ちの良いものだ。アーチェリーの魅力を少しでも多くの人に知ってほしい。

そこで我がアーチェリー部の紹介をしたい。現在、部員が男子29名、女子14名の我が部は、ほとんどが初心者であり、明るく和やかなクラブである。また戦績についても誇れるのが女子の中四国王座決定戦の優勝と西ブロック優勝である。その後、西日本の代表校として全日本大会に出場し、強敵日体大に敗れたものの全国で2位という輝かしい成績を修めた。また大学の移転に伴って、今年西条に新しい射場が完成し、施設の充実によって今後、一層の期待がかけられている。

われら影絵小僧 めざせ子供達のアイドル!

教育学部学生 湯 藤 浩 樹



こんにちは。私たちは影絵創作グループ“どろんこ”といいます。その名のとおりに影絵劇を作り、小学校や公民館を訪問して公演を行うことを主な活動内容としています。ただサークルの性格上、学内で公演を行う機会が少なく、みなさんには、私たちの活動をよく理解してもらえていないようです。そこで、今回この紙面を借りて、私たちのサークル“どろんこ”を紹介したいと思います。

まずは、先に掲載した写真ですが、これは昨年三月に公演した『もりはいきている』の一シーンのものです。ここで私たちが使用している人形は、もちろん手作りで顔や手足が動きます。しかも、人形の操作とセリフは別の人間が行うので呼吸を合わせるだけでも一苦勞です。背景の絵は、写真ではわかりにくいのですが、セロファンの厚めのものを切り合わせて、様々な色彩で構成されたものを、OHPを利用して後ろからスクリーンに映しだしています。このようにして一つのシーンが出来上がり、一本の作品が仕上がっていくのです。

完成した作品は、公演という形式で発表するのですが、子供達は、真っ白なスクリーンに展開される光と影の幻想的な世界に魅せられ、無邪気な笑顔を見せてくれます。その時の充実感は何ものにも代えがたいものがあり、また私たちが、どろんこの一員でよかったと感じる時でもあるのです。

さあ、これを読んだ貴方もぜひ一度、私たちの公演を見に来て下さい。きっと影絵の魅力を理解してもらえることでしょう。